



第3回まちゼミ「伏見講話」レポート

テーマ「商店街と私」

第3回まちゼミ「伏見講話」（1/20）のゲストは竜馬通り商店街で「安本茶舗」を営む安本正子さんと、中書島と納屋町商店街で「伏水きたせ昆布老舗」を営む北澤雅彦さんのお二人。さらに、今回のまちゼミではこれまでと少し趣旨を変えて、フリートーク形式にしたため第1回で講師をしていただいた「Piers'n'Peers」代表の藤崎壮滋さんをお招きした。

まずは安本さんが持ってきてくださった竜馬通り商店街界隈の昭和45年頃の写真を眺めることに。それは、人と物が溢れる「城下町」としての伏見が感じられる一枚。子供が遊びまわり、生活に必要なものをすべて揃えることができる活気にあふれた商店街の様子が写し出されていた。「人が多すぎて自転車も通れない」と当時を振り返る北澤さん。当時は中書島まで、買ってすぐに使えるものが並ぶ「生活型」の商店街が続いていて、遠くからも買い物に来る習慣があったほどに栄えていたという。

日時：2012/1/20 14:00～16:30

場所：伏見青少年活動センター「レッスンスタジオ」

参加者：13名



現在の納屋町・竜馬通り商店街は「竜馬ファン」の伏見観光が多くなったことから、「生活型」から「観光型」の商店街へと変わりつつある。時代が変わっていく中で、安本さんはお店へ来たお客様に伏見の歴史の語り部として町を紹介している。しかし、一方で商店街を継いでいく次世代の若者は育っておらず、若者が来ることが少ないという問題を抱えている。

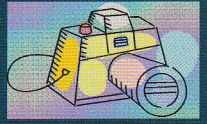
「お店があれば人が来てくれる。売れなくても人が来てくれれば人と繋がれる、力をもらえる」と語る安本さんと、「これからは昔の商店街は戻ってこない。けど、当時の良さを継いでいきたい」と語る北澤さん。商店街が時代を超えて変わってきたことは明らかだが、ただ商売をするだけでなく、そこに大きなコミュニティが生まれる。それだけはいつの時代も変わっていなかった。



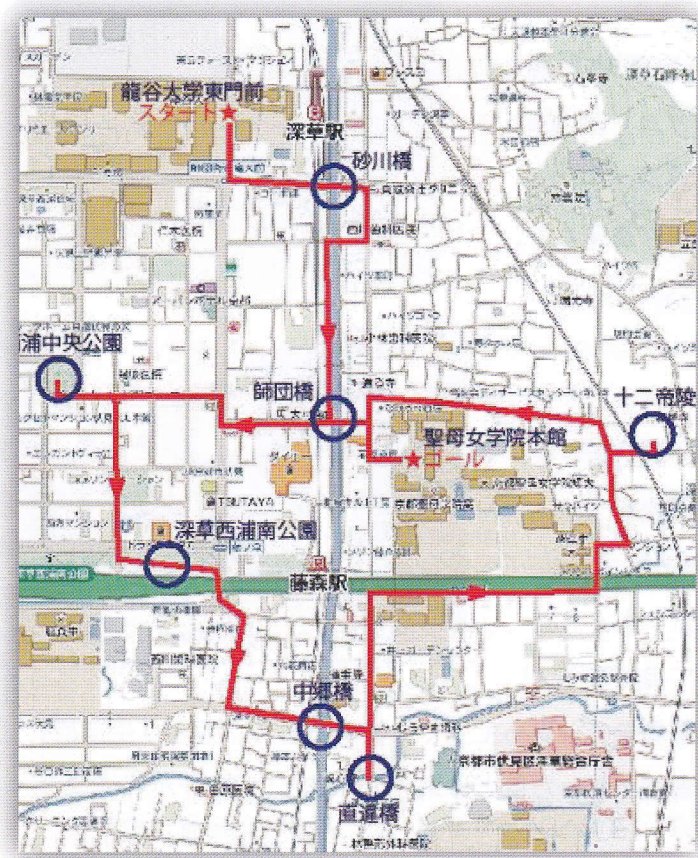
文：近畿大学3年 本田和也



1st まち歩き Follow Up



1st まち歩き「深草を深く知る！～疎水架橋をめぐり、軍道と伏見街道を歩く～」



私たち「伏見歩き隊」は、平成24年3月10日(土)の午後から3時間あまり第1回イベントとして「深草を深く知る！～疎水架橋をめぐり、軍道と伏見街道を歩く～」というまち歩きを行なった。今回は、主催者を含め28名の参加があった。多数の皆様が参加していただいたことに深く感謝している。

また、当日のまち歩きのナビゲーターとして、龍谷大学の岩田貢先生をお迎えした。岩田先生のご案内によって、より深い深草のまち歩きができたのではないかと考えている。

砂川橋

1928年(昭和3年)3月竣工。橋の東詰上手には、当初の大きな花崗岩の橋標が残され、「砂川橋」と刻されている。この橋の北東部分に「落とし口」がある。レンガ造りの暗渠口で、砂川が疎水を潜って西に流れていたことが唯一わかるポイントである。



師団橋



この橋はすぐ近くに師団司令部があったので、師団橋という名がついたらしい。この橋の橋脚には陸軍の五角の星マーク(五芒星)が付けられている。また、橋の南東に立っている自然石に「明治四一年三月竣工・工兵第十六大隊架設」と書かれているのが、わずかながら判読できる。

深草中央公園（旧深草練兵場跡）

この地域は、古くから深草弥生遺跡で知られる稲作農耕の集落地であり、平安期は、「鶉（うずら）の里」と呼ばれた。明治41年京都練兵場（深草練兵場）となる。昭和24年農地に転用、西浦町と命名。昭和45年区画整理完了、住宅地となる。この公園は、西浦町のほぼ中央に位置している。



直違橋（すじかいばし）



伏（ふし）水（み）第四橋。石造りの橋を支える下の部分は円形になって積みまれている珍しいタイプの橋。直違の由来は、直線の川ではなく、橋が架けられているところで丁度、川が折れてしまっているから名づけられたと思われる。

十二帝陵（深草北陵）

後深草(89)・伏見(92)・後伏見(93)・後光厳(北朝 4)・後円融(同 5)・後小松(100)・称光(101)・後土御門(103)・後柏原(104)・後奈良(105)・正親町(106)・後陽成(107)の計 12 天皇(持明院統)と栄仁親王の納骨堂。静かな住宅街の中にひっそり佇んでいる。ただ、近くまで行くことは宮内庁によって禁じられていた。近くの JR 奈良線の路線が変更され、その為急カーブになってしまったというお話を聞いた。



聖母女学院（第十六師団司令本部跡）

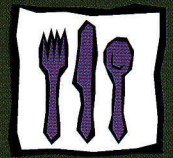


ゴール地点！

第十六師団司令本部跡。イギリス人が設計した英国ビクトリア朝宮殿風。入り口は将校が馬でも出入りしやすいように高めに設計されている。赤煉瓦の建物は、戦時中、建物が目立って爆弾を落とされないように、真っ黒に塗りつぶしたこともあるが、今は当時のまま復元されている。本館以外にも歴史ある古い建物ばかり。この日は、聖母女学院に予め許可をもらったため敷地内に入ることができ、赤煉瓦をバックに最後に皆さんで記念撮影！



私の「イチオシ」カフェ



～カフェメニューから 定食まで お母さんの心のこもった手づくりカフェ～



Coffe della Donna (デラドンナ)

児童公園の南のお洒落なテナントビルの一階 セレクトショップの奥。白いカントリー調の扉をあけると 開放的なキッチンと ゆったりしたテーブル席。 オープンして2年のこのお店。

ランチタイム、ティータイムはご近所のマダムや お子様連れのママ友サンたちで またディナータイムは お仕事帰りの方々のくつろぎのスペースとして 連日にぎわうアットホームな雰囲気のカフェです。 カ

フェ デラドンナは イタリア語で「おばさんのカフェ」という意味があります。 オーナーの心のこもった手づくりのお料理はどれも絶品。 手間をかけることを惜しまず おいしい手料理をあったかい雰囲気です、楽しむことができます。 この日はディナータイムにお邪魔しました。 ワンプレートの定食は パンかご飯が選べ、かなりのボリューム (これにコーヒーがついて1500円はかなりお得)。 そして2月から新しくメニューに加わったものとして「ちょい飲みセット」(1200円)があり 18:00～22:00に オーダーできます。 種類はビールセット(ビール&オードブル)とワインセット(ワイン&オードブル)の2種類です。 手づくりスイーツケーキも充実、食後のデザートに、ティータイムにおすすめです。 またライブやイベントなども開催されています。 ご予約など詳しいことは 以下のお店情報へ。

～お店情報～

京都市伏見区瀬戸物町 732 ビックド1 (1F) Tel.075-612-8108

営業時間/10:00～23:00 (水曜定休) ただし、17:00～18:00は、準備中。

2012.12.20 21:15 Thu Copyright FUSHIMICHELIN フシミシュラン All Right Reserved.

フシミシュランのアドレス: <http://fushimichelin.blog.fc2.com/>



第4回まちゼミ「伏見講話」開催!

テーマ「伏見まるごと博物館～フシジオについて」

- ◆ 講師: 梅林秀行氏 (NPO法人京都ARU事務局長)
- ◆ 3月20日(祝・水) 14:00～16:30
- ◆ 京都市伏見いきいき市民活動センター 101 会議室
- ◆ 参加費 500円 (茶菓子・資料コピー代) ※要申込み

申し込み先

谷口英明

メール: t_hide314@yahoo.co.jp

電話・fax: 075-603-3595

Facebook: 「伏見歩き隊」で検索!

【編集後記】春のぼかぼか陽気が心地よいですね。まちゼミ通信 3号は桜を意識したデザインにしてみました。今年、大気中に飛んでいるのは花粉だけではないようですので、みなさまお気を付け下さいね。編集: 伏見歩き隊 tomomi